



# おち あい しん ご 落合慎悟県議

## 静岡県議会報告 2017年冬号

静岡県政に対するご意見  
ご要望をお寄せください。

# 静岡県議会報告 五輪会 自民改革会議 静岡県議会議員

# おち あい しん ご 落合慎悟



**県政報告会 講座報告9月10日(土)** 会場 藤枝市文化センター 大ホール

**第1部 北折一先生**  
元NHK「ためしてガッテン」担当デスク  
「ガッテン派!生活常識、大逆転のススメ!」  
19年携わったNHK「ためしてガッテン」の制作エピソードなど楽しい内容や、体重測定表を作成し、100gまで表示する体重計で毎日、体重を測定し、減量に挑戦できるコツ等伝授の健康講座でした。

**第2部 高塚利明先生**  
元参議院事務局首席行政調査官  
今後の展望「憲法改正と自衛隊」  
今話題になっている憲法改正や憲法9条等の条例内容について、更に自衛隊の駆けつけ警護が可能となった安全保障関連法などを分かりやすく解説してくれました。

**10月18~20日 企画・暮らし環境委員会 県外視察** 常任委員会は県内視察2~3日程度で7月と1月に、県外視察は10月実施。視察場所と内容は事務局案の参考事例を委員会で調査検討し、決定する。



**「うどん県、それだけでない香川県」**  
香川県の認知度向上やブランドイメージ形成のため「うどん県、それだけじゃない香川県」をテーマとした戦略的情報発信事業の取組と全国で初めて県全域水道事業広域化を決定し、H30年度事業開始する取組についての調査。観光サイト「うどん県旅ネット」

**徳島県岩手町団地 集約化 PFI 事業**  
耐震性がなく老朽化の著しい県営住宅団地の建替で大地震に備え、社会的機能の側面に配慮する目的で民間資金やノウハウを活用した団地の集約化と維持管理業務等の現況を調査した。RC8階建112戸、無床診療所・介護福祉が隣接する。

**特定非営利活動法人「グリーンバレー」**  
地方創生の奇跡の町として注目の神山町で先導的役割を担う非営利活動法人「グリーンバレー」の調査。人を大切に創造する田舎づくり・多様な人の知恵が融合する「世界の神山」づくり・「創造的過剰」による持続可能な地域づくりの3ビジョンとして取組む。

**兵庫県淡路島民局交流室(淡路市生田畑)**  
交流室(未来島推進課)は、国の総合特区制度を活用し、官民連携で「持続する環境の島」「あわじ環境未来構想」地域資源活用集約活性化取組を調査。「エネルギーの持続」「農と食の持続」「暮らしの持続」生命つながる「持続する環境の島」の実現を目指す。

**ノマド村「淡路はたらくカチ研究島」**  
厚労省の地域雇用創造推進事業を活用し、淡路島で新しく働くカチ(暮らし・仕事の仕方)をみんなが考え、魅力的なはたらく人、はたらく場、はたらく機会をつくる事業で「ハタラボ島」に引き継がれる。「ノマド」は「遊牧民」を意味する。廃校利用施設

**1月19日 企画・暮らし環境委員会 県内視察** 企業の環境事業推進状況調査 **1月26日 県緊急消防援助隊訓練**

**リコー環境事業開発センター(御殿場市)**  
株式会社リコーは、地球環境問題の解決に向けて、2020年、2050年を展望年とした中長期環境負荷削減目標を設定し、90年代から環境保全と利益の創出を同時に実現する「環境経営」に取組む。環境を基軸としたリコー環境事業開発センターを調査した。従業員900名

**静岡ガス(株)本社ビル(静岡市)**  
地域を支えるエネルギー会社として環境配慮コンセプトを掲げ、環境・省エネルギー計画を進める。H24年度国交省の住宅・建築物ネット・ゼロ・エネルギー推進事業に採択された。省エネと創エネでネット・ゼロ・エネルギービルの取組を調査した。

**藤の瀬会館広場と焼津漁港の2会場で大規模災害発生時の広域消防応援体制連携強化の為、県全域の援助隊合同訓練実施。**  
H7年創設、県内145隊が登録。藤枝は土砂崩れで民家、車両が埋没・人的被害多数。焼津は石油貯蔵施設石油タンク火災発生、延焼拡大。

**10月25日全国土地改良大会 石川県いしかわ総合スポーツセンター**

**11月17日県内土地改良区29年度予算要望活動 国交省・農水省・財務省**

**落合慎悟事務所**  
〒426-0031 藤枝市築地838  
TEL 054-645-8100  
FAX 054-645-8111  
メール s.o@thn.ne.jp  
http://www.ochiai-shingo.jp



**「渋谷ライナー」乗りました。藤枝駅から渋谷駅まで3,100円!!**  
相良営業所~藤枝駅南口~岡部営業所~御殿場IC~渋谷マークシティ  
藤枝駅南口をAM8:29出発、岡部から新東名で静岡SA15分休憩、御殿場IC停車、足柄SA15分休憩、渋谷駅横のマークシティAM11:39到着した。車内はトイレ付きで座席も前が広く、リクライニングも大きく快適です。  
毎日4往復で予約無しOK 土・日は予約が無難。渋谷は5階が乗降場。

## 高齢化が進む日本!!2055年には約2.5人に1人が65歳以上の高齢者になる!!

日本の高齢化率は最高の27.1%となった。日本の総人口は1億2692万人で将来推計人口によると2025年には3657万人が75歳以上と見込まれる。社会保障費は100兆円を超える規模に達した。政府は財政再建に向け、伸びを抑えるのが喫緊の課題だ。日本の平均健康寿命の伸びるスピードが、平均寿命の伸びるスピードより劣っている。介護を必要とする期間が長期化している。対策として「生活習慣をうまくコントロールして、要介護のリスクとなる生活習慣病を予防できれば、健康寿命を延伸できる可能性は高い」秘訣は「基礎体力を維持する運動、十分な栄養補給、社会との関わりを持ち続けること」と専門家は述べている。

## 膨らむ医療費!!75歳以上の1人当たり年間医療費90万7千円!!次世代にツケ!!

戦後農民たちは相次ぐ凶作で生活は苦しく、病は貧乏に拍車をかけた。当時の鳩山一郎首相は「国民皆保険制度を目指す」と宣言し、1961年国民皆保険制度が実現した。しかし、国民医療費は1970年以降毎年増加し、現在では総医療費が約42兆円となり、毎年1.5兆円増加している。若者の医療費は少ない国民1人平均では約32万円であり、総医療費の国負担は企業負担・保険料自己負担を差引ても4割となる。医療費の給付と負担の改革を進めて、将来世代への責任を果たさなければならない。

## 【中小企業・小規模企業支援条例】今までにない理念条例でなく支援策を明示した条例!!

県内中小企業・小規模企業は、高齢化や経済活動の変化で事業所の減少、売上の低迷、価格競争激化、人材確保難など課題を抱えている。このような中で企業が発展していくには、企業自身が、計画的かつ主体的に経営の向上を務めることはもとより、中小企業・小規模企業が地域の発展のために不可欠であることを理解し、支援することが必要。総合的に推進するため条例制定した。条例のポイントは理念条例とせず、関係機関の役割や振興施策を明確に位置づけ、企業を持続発展を重視し、支援に取組む規定。早速29年度予算1億円で企業のアドバイザリーサービス創出など、新規事業に挑戦する企業に事業費の3分の2(上限50万円)を補助する。更に予算4千万円で小規模企業を支援するため、東部・中部・西部3か所にサポートセンターの設置等手厚い施策。

## 【小中学校の児童生徒の静岡茶の愛飲の促進に関する条例】家庭でもお茶を愛飲してほしい!!

最近の家庭では、朝はパン食でお茶を飲まなくなった。小中学校でも給食時にお茶でなく牛乳を飲む。お茶の効能は知っているても茶葉の処理が面倒で急須を使わなくなった。お茶を飲む子は虫歯が少ない、風邪を引き難い、大人も口臭が消える。健康寿命が長いなど利点が多い。お茶はもともと葉草だった。私は「食べるお茶」や「お茶ガム」を作り、生産農家を応援し、県議会で何回もお茶に関して質問してきた。漸く、県当局から条例として提案してくれて感謝感激です。お茶農家も喜ぶ。この条例は小中学校の児童に給食時間以外にもお茶が飲めるような環境づくりの責務も課しています。茶の入れ方講座や茶摘み体験、栽培や茶工場見学、食育研修等とともに職員対象の日本茶アドバイザー資格の取得等の促進策が盛りだくさんあります。しかし、私の考えは「多忙な学校の先生方」が率先してお茶を扱うのではなく、子ども達のためには地域の高齢者ボランティアを活用していただきたいと思っています。29年度予算には7千万円で全小中学校に1か月分のお茶を提供するとしています。

皆様に支えられてお陰様で、静岡県議として10年になります。議会活動も全般的な運営も理解できるようになり、今年度は、県の監査委員として重要な職務を任せられました。通常の議員活動では知り得ない事柄にも関与し、対処しています。定期監査・行政監査・決算審査・例月出納検査と常に緊張して努めます。住民監査請求も11月12月連続しました。県の財産を脅かす行為が否かを調査し、60日以内に結論付けました。静岡県発展のため、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 12月県議会(12月1日~12月21日)知事報告

地震・津波対策...地震防災強化月間は「大事な人、助けるためには、まず自分」スローガンに家具固定、食料備蓄、避難所開設の訓練をした。美しい景観づくり...美しい景観形成が住民の愛着や誇りに繋がり、人々の憧れを呼ぶ地となるよう、違反広告物の撤廃に徹底した取組。伊豆半島ジオパーク...11月にユネスコグローバルジオパーク認定申請。海底火山や活断層の希少性を明確にし、平成30年春認定に期す。お茶の振興...お茶が健康にもたらす効果は科学的に明らか。小中学校の児童生徒の静岡茶の愛飲の促進に関する条例」を議会に諮る。中小企業・小規模企業の振興...小規模企業の振興を図るために、事業継承、地域を支え続けることの重要性を明確にした条例を提案する。ラグビーワールドカップ2019...エコスタジアムの改修を進め、機運を高め、県民の皆様に国内最高峰のラグビーを体感していただく。外国人観光客受入れ促進...2019年ラグビーや2020年東京オリンピックをチャンスと捉え、外国人観光客誘客のため、受入整備を加速。富士山静岡空港...11月旅客ターミナルビルの増築・改修工事に着手。空港と直結する新駅設置を実現し、空港利用客の利便性を高める。海の玄関口港湾...清水港目の出陣頭をクルーズ船が頻りに寄港する拠点港と位置付け、世界レベルの「みなとまちづくり」実現を目指す。外国人観光誘致のための中核組織の設置...1月全県的なDMO「静岡ツーリズムビューロー」を県観光協会内に設置し、誘客対策を展開。浙江省との友好35周年...4月に浙江省代表团が県を訪問する返事を貰った。秋に知事を団長とした本県代表团が、浙江省を訪問する。平成29年度予算編成について...地方税、地方交付税などの一般財源総額は本年度とほぼ同額が見込まれる中、社会保障費など義務的経費が増加することなどから、従来にも増して大変厳しい環境下での予算編成となることを見込んでいる。限られた財源と人員を有効に活用し、事業の重点化・優先化はもとより、全庁を挙げて取り組んでいる「全業務の分類と見直し」を踏まえた、思い切った事業のスクラップアンドビルドや事業手法の見直しの徹底により、本県の進める「ふじのくに」づくりと財政の健全性の確保の両立を図っていく。

## 12月14~15日 企画・暮らし環境委員会報告

浙江省友好提携35周年記念事業...昭和57年に締結している。29年4月、浙江省代表团受入れ、11月中下旬、県代表团派遣。モンゴル国セレンゲ県との覚書調印...10月モンゴル国総理大臣立会いで農業分野(情報・人材養成・販路拡大)で協力の調印。インドネシア西ジャワ州から訪問団...11月県は西ジャワ州知事と今後、交流の可能性を相互に検討する合意趣意書に署名。後期アクションプラン・総合戦略の再評価...12月議会各常任委員会で審査を踏まえた修正等を加え、29年2月を目途に公表。東静岡駅南口駅有地「文化力の拠点」...基本計画案を基に、事業スキーム構築に向けてマーケットサウンディング調査を実施。旧金谷中学校跡地の活用...島田市と基本計画を作成。民間活力導入による有効活用方策を検討。事業プロポーザル実施準備。市町におけるICT-BCTの策定状況...災害発生時における情報システム早期復旧を可能とする。策定済藤枝市他12市町。移住・定住の促進...28年度上半期実績は相談2,233件、移住者189人で昨年1年間に匹敵する。藤枝市相談81、移住7人。県女性活躍推進計画今年度策定...①現状と課題「女性の就業・雇用・給与」②基本的な考え方③目指すべき社会④施策の展開。空き家対策...県は市町が行う危険な老朽空き家対策、「空き家等対策計画」策定・実施並びに措置を支援。民間連携で有効活用。耐震診断義務化対象建築物の耐震診断結果の公表...多数利用の5000㎡以上の大規模建築物で震度6強から7の安全性公表。次世代を担う人材育成環境教育...①環境作文コンクール②子ども環境大使派遣事業③タウンミーティング④環境指導員養成。鳥獣保護管理事業...第2種特定鳥獣管理計画策定...H29~H33年度ハクビシン制限無・イノシシ600頭・ニホンジカ600頭。海岸漂着物対策事業費助成...市町の海岸漂着物等の改修・処理及び発生抑制に係る事業を助成。実施14市町補助率7/10。



杉山自衛隊航空幕僚長と(藤枝市葉梨出身)



地震・津波対策会議で足立敏之参議院議員と



2月2日仙台駅前ホテルで静岡茶いどり見本市開催